



UNIVERSAL RUN
2019 - 2020



ユニバーサル・ラン
〈スポーツ義足体験授業〉

2019-2020年度 開催報告



だれもがカラダを動かすことに喜びを感じられる社会を目指し、
子どもたちにユニバーサルな心の在り方を伝えていくことを目的とした
LIXILの「ユニバーサル・ラン〈スポーツ義足体験授業〉」
「スポーツ義足の体験」と義足への知識を深める「座学」の両方を通じて、
実際に義足を使いこなすことの難しさを体感したり、
義足使用者のリアルな経験談に触れていただきながら、
子どもたちが多様性への理解を深める貴重な時間をご提供しています。



体験授業開催校一覧

東北

青森県 三沢市立おおぞら小学校	03	福島県 矢吹町立善郷小学校	05
秋田県 大館市立花岡小学校 / 矢立小学校	03	宮城県 南三陸町立志津川小学校	05
岩手県 山田町立轟木小学校	04	宮城県 仙台市立上野山小学校	06
福島県 田村市立大越小学	04		

関東

茨城県 水戸市立吉田小学校	06	埼玉県 新座市立八石小学校	09
群馬県 沼田市立沼田東小学校	07	千葉県 市原市立京葉小学校	09
群馬県 高崎市立乗附小学校	07	東京都 東村山市立秋津東小学校	10
埼玉県 秩父市立花の木小学校	08	東京都 足立区立六木小学校	10
埼玉県 新座市立陣屋小学校	08	東京都 調布市立第三小学校	11

中部

愛知県 豊川市立豊川小学校	11	長野県 佐久市立泉小学校	15
愛知県 美浜町立布土小学校	12	新潟県 上越市立柿崎小学校	15
愛知県 名古屋市立堀田小学校	12	新潟県 柏崎市立荒浜小学校	16
石川県 金沢市立大浦小学校	13	新潟県 上越市立三郷小学校	16
岐阜県 岐阜市立柳津小学校	13	山梨県 笛吹市立一宮南小学校	17
静岡県 三島市立徳倉小学校	14	山梨県 富士河口湖町立船津小学校	17
長野県 長野市立三本柳小学校	14	山梨県 甲府市立中道南小学校	18

近畿

大阪府 大阪市立北恩加島小学校	18	滋賀県 甲賀市立朝宮小学校 / 小原小学校 / 多羅尾小学校	19
京都府 亀岡市立千代川小学校	19	三重県 津市立南が丘小学校	20

中国

島根県 松江市立意東小学校	20	鳥取県 米子市立崎津小学校	21
島根県 出雲市立高松小学校	21		

四国

愛媛県 今治市立常盤小学校	22	香川県 高松市立国分寺北部小学校	23
愛媛県 松山市立福音小学校	22	香川県 高松市立牟礼北小学校	23

九州

大分県 別府市立南立石小学校	24	長崎県 長崎市立香焼小学校	25
佐賀県 佐賀市立西与賀小学校	24	福岡県 宗像市立自由ヶ丘小学校	26
長崎県 佐世保市立春日小学校	25	福岡県 福岡市立原小学校	26

三沢市立おおぞら小学校

陸上競技短距離選手
金子慶也選手

5年生、6年生と金子慶也選手が授業を行いました。初めてのスポーツ義足に「グラグラする!」「重い!想像と違う!!」などの声が聞こえてきて、見るだけではなく実際に体験する事で多くの気づきがありました。明るい金子選手につられて、みんなにも笑顔がたくさん。前からの友達のようにお話をして色々なことを教えてもらいましたね。挨拶もお返事も元気に、仲良く楽しい時間を過ごしました。

大館市立花岡小学校 / 矢立小学校

陸上競技短距離選手 / 大島健吾選手
名古屋学院大学

長い歴史を感じる校舎で、大島健吾選手と2つの学校の5年生と6年生が授業を行いました。元気よくスポーツ義足を体験し、その姿を見に他の学年の児童も体育館に訪れ、賑やかな授業となりました。大島選手が陸上競技を始めたのは、スポーツ義足を使ってみたく思ったことがキッカケだった、と教えてくれました。今は走ることが楽しいので、もっと速くなるよう日々トレーニングをしているとのこと。新しいことを始めたのには何か理由があったのかな?と思ったみんなでしたが、大きな理由は必要ないんだなと感じ、興味があればどんどんチャレンジしてみようと思いました。

山田町立轟木小学校

陸上競技短距離選手 / 大島健吾選手
名古屋学院大学

5年生、6年生と大島健吾選手が授業を行いました。初めは少し緊張していたみんなでしたが、選手にひとりずつ名前を覚えてくれてリラックスした雰囲気にお互いにあだ名で呼び合うアットホームな授業となりました。実際にスポーツ義足を体験して、使いこなすことの難しさを知ったみんな。自分と同じ所と違う所を学び、みんなが暮らしやすくなるためにはどうすれば良いのかを一緒に考えました。

田村市立大越小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザーズ・コンソーシアム(株)所属

5年生、6年生と池田樹生選手が授業を行いました。初めは遠慮がちで少しおとなしいみんなでしたが、池田選手が義足の歩き方などを教え、優しく話しかけてくれたので、すぐに打ち解けました。池田選手は、出来ないことがあると身体のせいにしていた時期もあったけれど、スポーツをキッカケに変わったそうです。みんなも、スポーツだけでなくできることからやってみようと、前向きに考えることができました。

矢吹町立善郷小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

5年生、6年生と山下千絵選手が授業を行いました。初めは少しドキドキしたけれど、明るい山下選手に歩き方や走り方を教えてもらうと徐々にリラックスした雰囲気になりました。みんなは、お話しを真剣な眼差しで聞いて、色々な質問をしていましたね。選手から質問された時には、自分なりの意見をしっかりと伝えてくれていて、お互いを知り理解し合う時間となりました。

南三陸町立志津川小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザーズ・コンソーシアム(株)所属

5年生、6年生と池田樹生選手が授業を行いました。初めてのスポーツ義足はドキドキしたけれど、積極的に取り組み、あちこちから元気な声が聞こえてきました。

スポーツ義足のことを知り、池田選手が走る姿を見てすごい！と思ったみんな。たくさんのお話を聞いてとても賑やかな授業となりました。

仙台市立上野山小学校

陸上競技短距離選手 / 大島健吾選手
名古屋学院大学

6年生と大島健吾選手が授業を行いました。初めは少し緊張したけれど、優しくお話をしてくれる選手に親しみを感じ、色々な質問やお話をしながら楽しくスポーツ義足の体験をしました。義足だとできないことがあるのかな?と思ったみんなでしたが、大島選手は日常生活で特に困ることはないと教えてくれました。色々なスポーツにチャレンジしていることも教えてもらい、義足の人に対するイメージが変わる時間となりました。

水戸市立吉田小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

キリッと冷えた空気に清々しい青空の中、山下千絵選手と授業を行いました。学習の一環でこの1年間福祉の勉強をやってきたみんなは、体験にも全力で取り組みました。目をキラキラさせながら、山下選手のお話を聞き、沢山の質問をしてくれました。体験を通じて義足を使いこなすことの難しさを知り「山下選手はすごい努力をしたと思う」など、自分なりの感想をしっかりと話してくれました。

沼田市立沼田東小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

6年生と山下千絵選手が授業を行いました。みんなは、初めて会う義足の選手に少し驚いていたけれど、すぐに興味の眼差し変わり、自分と違うところや同じところを考へて「相手を知ろう」としていました。そして実際に義足を体験し、その難しさを知り、山下選手を見る目が尊敬に変わっていきました。義足を自分の体の一部として使いこなし、好きなことにチャレンジする山下選手。義足の人だからと特別視せず、心に壁を作らずに接して行けば良いんだ、と感じる時間となりました。

高崎市立乗附小学校

陸上競技短距離選手 / 又吉康十選手
(株)ゼンリンデータコム所属

5年生と又吉康十選手が授業を行いました。体験の時間には、自分なりの目線できちんと観察し、疑問に思ったことはすぐに選手に質問をして学びを深めていきましたね。選手からの問いかけにも元氣良く答え、楽しい時間を過ごしました。又吉選手はリハビリを乗り越えて好きなスポーツを再開でき、今、目標を持って日々過ごしていることがとても楽しいと話してくれました。どんな時でも、落ち込んだりマイナスに考えることなく、出来ることをしていれば道は拓けてくるんだよ、と教えてくれました。

秩父市立花の木小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザー・コンソーシアム(株)所属

5、6年生と池田樹生選手が授業を行いました。初めてのスポーツ義足に興味深々のみんなは、池田選手の周りに集まり、たくさんのお話をしてあっという間に仲良くなっていましたね。子どもの頃から義足だった池田選手は、周りの仲間のサポートの大切さを感じたと教えてくれて、みんなもお友達同士で助け合っていこうと思いました。お互いを知り、相手の立場に立ち、尊重し合う大切さを感じる時間となりました。

新座市立陣屋小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザー・コンソーシアム(株)所属

5年生と池田樹生選手が授業を行いました。初めて会う義足のアスリートに少し驚いていたみんなですが、スポーツ義足での歩き方や走り方を優しく教えてもらい、すぐに仲良くなりました。池田選手の周りを囲み、色々なお話をしましたね。そこにはもう壁はありませんでした。実際に会って触れ合うことで自分との共通点をたくさん見つけたみんな。決して遠い存在ではないんだと感じました。

新座市立八石小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

5年生と山下千絵選手が授業を行いました。体験の時間は楽しく元気にチャレンジして、選手の問いかけにもハキハキとお返事をして賑やかな授業となりました。山下選手は陸上を始めたきっかけや、日常用とスポーツ用の義足の違いなどを教えてくれました。好きなスポーツにイキイキと取り組んでいる姿を見て、どんな時も諦めず前向きに取り組むことの大切さを知りました。選手からたくさんのパワーをもらったみんな。体育館には笑顔があふれていました。

市原市立京葉小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

6年生と山下千絵選手がリモート授業を行いました。義足の体験では画面越しに山下選手からアドバイスをもらい、はじめは難しいと感じていたみんなもすぐに走ることができるようになりました。山下選手は、日常生活では不便なことも工夫すれば問題なくできる、と教えてくれました。自分との違いのなさを知ることで、少し遠い存在なのかな？と思っていた印象が変わり、身近に感じる日ができました。

東村山市立秋津東小学校



5年生と山下千絵選手が授業を行いました。初めてスポーツ義足を見たみんなは、様々な角度から観察し、自分なりの目線で考えたことを発言しましたね。「義足を使って、どのように日常生活をしているのだろうか?」と興味を持ったみんなは、山下選手のお話や問いかけに対して、大きく頷いたり、どよめいたりしていました。どんな些細なことでも聞き逃さないぞ、という姿勢で、新しい知識をグングンと吸収する時間となりました。

足立区立六木小学校



6年生と笠松大聖選手が授業を行いました。少し緊張していたみんなでしたが、義足での走り方やジャンプの方法を優しく教えてもらいながら、楽しく体験をしました。義足の人は特別なのかな?と思ったみんなでしたが、笠松選手はほとんどのところは自分でできるし、手伝って欲しい時はお願いすると話していました。それは義足でもそうじゃなくても同じこと。そう気付いたみんなは、相手が誰であっても、お互いに支え合っていくことが大切なんだと感じました。

調布市立第三小学校



6年生と山下千絵選手が授業を行いました。

簡単に走れるのかな？と思ったけれど、実際に体験すると難しく、きれいなフォームで走ることができる山下選手をすごいと思いました。山下選手とのコミュニケーションを通じて、自分との違いのなさに気付いたみんな。義足だからと特別に意識する必要はないんだなと感じました。相手が誰でも、困っている人がいたら手伝ってあげたいと思いました。

豊川市立豊川小学校



5年生と6年生が大島健吾選手と授業を行いました。スポーツ義足に興味深々で、選手にたくさんの質問したり、問いかけにもハキハキと答えたりして楽しい時間を過ごしました。義足の人は手助けが必要なのかな？と思っていましたが、大島選手は日常生活で困ることはないと言い、自転車に乗るのも階段の昇り降りも全く問題ないと教えてくれました。お話を通じて義足でも自分と何も変わらないということに気付いたみんな。はじめは少し遠い存在に感じていたけれど、いつのまにか心の壁がなくなっていました。

美浜町立布土小学校

2020年1月28日 開催

陸上競技短距離選手 / 大島健吾選手
名古屋学院大学

5年生、6年生と、大島健吾選手が授業を行いました。初めてのスポーツ義足だったけれど、すぐにコツをつかんで元気に体験していました。選手ともいろいろなお話をして、体育館には明るい笑い声が響いていました。大島選手は、小さい頃からみんなと一緒に体育などもしていて、義足だから諦めようと思った事はないそうです。だから「痛そう」とか「かわいそう」ではなく、「好きなことにチャレンジしていてなんだか楽しそうだなと感じてもらえたらいいな」と話してくれました。

名古屋市立堀田小学校

2021年1月21日 開催

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

5年生、6年生と山下選手がリモート授業を行いました。選手から義足の特長や走り方を教えてもらい早速チャレンジ。はじめは恐る恐る歩いていましたが、あっという間に慣れて元気に体験をしました。講義の時には、山下選手が日常生活や義足に対する考え方をお話してくれました。選手はひざ下の「下腿義足」ですが、太ももの「大腿義足」についてもお話をしました。同じ義足でも大きな違いがあることを知ったみんな。誰もが暮らしやすい社会をつくるためには、まずは相手を知り思いやることが大切なんだな、と感じる時間になりました。

金沢市立大浦小学校

陸上競技短距離選手
金子慶也選手

5年生と6年生が金子慶也選手と授業を行いました。明るく話す選手につられ、みんなも楽しく元気に体験をしていましたね。わからないところがあれば積極的に質問をしてコミュニケーションを深めていきました。金子選手は義足でいることは自分にとって普通のことだし、困ることはないと教えてくれました。義足の人は少し遠い存在なのかな？とっていたみんなでしたが、実際に会った金子選手は気さくにお話をしてくれたり一緒に走ったりしてくれました。そこに壁はなく、自分と何も違いはないんだと感じる時間となりました。

岐阜市立柳津小学校

陸上競技短距離選手 / 大島健吾選手
名古屋学院大学

6年生と大島健吾選手が授業を行いました。とても元気にスポーツ義足の体験をして、積極的に選手に質問をしましたね。楽しく会話を続け、初めて会ったとは思えないくらいに仲良くなりました。大島選手が陸上を始めたのは「やってみたい」と思ったからで、義足だから無理かな？と考えたことは一度もないそうです。限界を作らずにチャレンジすることで、自分の世界がどんどん広がることを教えてくれました。

三島市立德倉小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

6年生と山下千絵選手が授業を行いました。初めて会う義足アスリートは、想像していたよりも速く走り高くジャンプをして見せてくれたのでとても驚きました。みんなは義足の構造やどうやって体とつながっているのかに興味深々。積極的に発言したくさんのコミュニケーションが生まれました。山下選手に会う前は、義足の人は不便なのかな？手助けが必要なのかな？と思っていましたが、お話を通じて自分との違いのなさを知り壁を作らずに接すればいいんだなという事に気付きました。

長野市立三本柳小学校

陸上競技短距離選手 / 大島健吾選手
名古屋学院大学

5年生と大島健吾選手が授業を行いました。初めて会う義足アスリートに興味深々のみんな。選手の周りに集まり積極的に自分の意見を言ったり質問をしていました。大島選手と一緒に運動をして会話をして、想像していたよりも何でも出来ることに驚きました。自分とは遠い存在かなと思っていた義足アスリートを身近に感じ、自分と何も変わらないんだと思いました。

佐久市立泉小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

6年生と、山下千絵選手が授業を行いました。体験の時間は楽しく元気にチャレンジして、賑やかな授業となりました。座学の時間にはしっかりと耳を傾けて聞き、選手からの質問も真剣に考え、自分なりの答えを探していました。山下選手は、義足という道具を使って、好きな陸上に取り組んでいることを教えてくれました。そのイキイキとした姿を見て、どんな時も諦めず前向きに取り組むことの大切さを知りました。たくさんのコミュニケーションを通じて、体育館には笑顔があふれていました。

上越市立柿崎小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)所属

気温も下がり秋らしくさわやかな日に、5年生と池田樹生選手が授業を行いました。選手から義足の使い方を教えてもらい、少しドキドキしたけれどすぐに慣れ、楽しく体験をしました。池田選手は、義足は靴の感覚だと言い、どんなスポーツでもできると教えてくれました。自由に動くことは難しいのかな、と思っていたみんなでしたが、コミュニケーションを通して義足の人への印象が変わる日になりました。

柏崎市立荒浜小学校

陸上競技短距離選手 / 又吉康十選手
(株)ゼンリンデータコム所属

きらめき学年と又吉康十選手が授業を行いました。初めは少し緊張していたみんなでしたが、優しく話しかけてくれる選手に親しみを感じ、たくさんの質問をしてあっという間に壁がなくなっていました。実際に体験をして、義足の重さや跳ねる感覚を体験することで、新しい発見をしたみんな。又吉選手は、この触れ合いの体験が考え方の幅を広げるキッカケとなり、大人になるまでずっと覚えていてくれたら良いなと話していました。

上越市立三郷小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

5年生、6年生と山下千絵選手が授業を行いました。初めてのスポーツ義足にチャレンジしたみんな。はじめは恐る恐るだったけれど、山下選手のアドバイスを聞いてすぐにコツをつかんだようでした。体験が終わると、画面の前に集まり感想を教えてくださいました。積極的にお話をしてたくさんの質問をしてくださいましたね。声が聞き取りづらい時はジェスチャーで大きく表現してくれて、相手に伝わりやすいように工夫をしていました。思いやりにあふれたあたたかい時間となりました。



5・6年生と山下千絵選手が授業を行いました。初めて会う義足のアスリートに興味深々で、色々な質問をしながらスポーツ義足を体験し、積極的に学びました。義足になった頃は、お友達に言えなかったという山下選手ですが、周りが気にせずを受け入れてくれたおかげで気にならなくなったと教えてくれました。義足の人は遠い存在ではないと気づいたみんなは、壁をつくらずに接していこうと感じました。



6年生と金子慶也選手が授業を行いました。初めての義足体験だったけど、怖がることもなく積極的にチャレンジしてすぐに走ることができました。義足の人は何を話せばいいのかな、かわいそうなのかなと思っていたみんなでしたが、とても明るく笑顔で色んなお話をしてくれる金子選手を知り印象が変わりました。これからは壁を作らずに接していこうと思いました。

甲府市立中道南小学校

陸上競技短距離選手 / 又吉康十選手
(株)ゼンリンデータコム所属

5・6年生と、又吉康十選手がリモート授業を行いました。義足の履き方や走るコツなどを聞いたみんなは、早速体験して画面越しに「難しかった」「重かった!」と感想を伝えてくれました。又吉選手は初めから陸上選手を目指していたのではなく、色々とチャレンジする中で決めたそうです。「好きなことをやる中で得意なことを見つければ良いんだよ」と教えてくれました。また「障がいは人それぞれ。相手の立場に立つという思いやりの気持ちが大事」というメッセージをくれました。

大阪市立北恩加島小学校

陸上競技短距離選手 / 大島健吾選手
名古屋学院大学

5・6年生と大島健吾選手が授業を行いました。初めて会う義足の選手に興味津々で、たくさんの質問をしましたね。すぐに仲良くなり、みんなで楽しくスポーツ義足の体験にチャレンジしました。大島選手は、自転車に乗るのも自動車の運転も問題ないと教えてくれました。小さい頃は周りの目が気になる時もあったけれど、何でもできるし、みんなと何も違いがないと気付いてからは積極的になれたそうです。やりたい事を諦めず、どんな時も前向きな気持ちでいることの大切さを感じる時間となりました。

亀岡市立千代川小学校

陸上競技短距離選手 / 大島健吾選手
名古屋学院大学



5年生と大島健吾選手が授業を行いました。初めは少し緊張していたみんなでしたが、大島選手に優しく教えてもらい徐々に義足で走ることの楽しさを感じるようになりました。初めて会う義足の選手に少し遠慮気味だったけれど、たくさんの会話や質問をしてだんだんと壁がなくなっていきました。テレビで見ていた時には気付かなかったことを知り、実際に触れ合うことの大切さを感じる時間となりました。

甲賀市立 朝宮小学校/小原小学校/多羅尾小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイジング・コンソーシアム (株) 所属



3校の児童と池田樹生選手が授業を行いました。はじめは少し緊張していたみんなでしたが、触れ合いを通じて徐々に馴染み、元気良く体験をしました。スポーツが得意だと言う池田選手ですが、もっと強い選手になりたいと思い日々トレーニングを重ねていると話してくれました。アスリートとして更なる進化を目指している姿を見て、頑張る気持ちに障がいは関係ないと感じ、心から応援したいと思いました。

津市立南が丘小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザー・コンソーシアム(株)所属

6年生と池田樹生選手が授業を行いました。9月とは言えとてもムシムシとした気候の日でしたが、暑さに負けず実際にスポーツ義足を体験して体を動かしたり、選手に質問をしたりしてあちこちから元気な声が聞こえてきました。初めは少し遠慮もあったけど、実際に触れ合い、コミュニケーションを取ることで距離が縮まり色々と聞ける関係になっていきました。会話を通じて義足の人に対する意識が変わりたくさんの新しい発見をすることができました。

松江市立意東小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

校庭から中海と大山が望める学校で、5・6年生と山下千絵選手が授業を行いました。初めてのスポーツ義足体験にも怖がる事なく挑戦し、歩いたり走ったりとあっという間に使いこなしていましたね。怪我をした時や高齢者になった時、普段なら簡単に出来る事が難しくなると気付いたみんな。その時には物でサポートすると同時に、思いやりの気持ちを持って自分に出ることで助けてあげる気持ちも大切なんだと感じました。

出雲市立高松小学校

やり投げ選手 / 眞野雄輝選手
古賀オール株式会社所属

5年生と眞野雄輝選手が授業を行いました。実際にスポーツ義足を体験して、その特性やバランスを取ることの難しさに気づいたみんなは「これで走れる選手はすごい！」と感じました。

眞野選手は、自転車も車も運転することが出来るけれど、苦手なこともあるので困った時にはお手伝いして欲しいと言いました。義足の人だからと気を遣うのではなく、相手が誰であっても、お互いを思いやり助け合うことが大切だと思いました。

米子市立崎津小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

5年生と6年生が山下千絵選手と授業を行いました。スポーツ義足の体験では「重い!」「難しい!」「フワフワして浮いてるカンジ!」と初めての義足に少し戸惑いながらも頑張って挑戦していました。山下選手は、小学生の頃は少し消極的だったけど、今は色々なスポーツにチャレンジしてみたいそうです。やりたいと思うことがあれば、無理だと決めつけずにどんどんチャレンジしよう!とメッセージを送ってくれました。

今治市立常盤小学校

陸上競技短距離選手 / 大島健吾選手
名古屋学院大学

6年生と大島健吾選手が授業を行いました。大島選手は自分が義足だということを意識せず、色々なスポーツにチャレンジしています。スポーツ義足でとても速く走る姿も見せてくれました。実際に体験してバランスを取ることや使いこなすことの難しさを知ったみんなは「すごい!」と思い、努力することの大切さを感じました。交流を通じて、みんなから「自分もスポーツを頑張りたい」「困っている人がいたら進んで手伝ってあげたい」との声をもらった大島選手は「自分ももっと練習を頑張りたい」と言い、お互いにエールを交換しあう授業となりました。

松山市立福音小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザーズ・コンソーシアム(株)所属

6年生と池田樹生選手が授業を行いました。気温も高く汗をかきながらの授業でしたが、暑さに負けず元気に体験をしましたね。実際に体験をして難しさを感じたみんな。これを使いこなす選手のすごさを感じ、どれだけの努力をしたんだろうと想像していました。池田選手は、苦しい時でも周りの仲間と支えあいながら乗り越えて来たかと教えてくれました。諦めずに大好きなスポーツに取り組む姿を見て、どんな時でも前向きにチャレンジすることや、お友達同士で助け合っていくことの大切さを感じました。

高松市立国分寺北部小学校

陸上競技短距離選手 / 又吉康十選手
(株)ゼンリンデータコム所属

5年生と又吉康十選手が授業を行いました。選手が義足を履き替える時、はじめはドキドキしながら見ていたけれど、すぐに興味に変わりました。義足の特性や走る時のコツを教えてもらい、実際の体験を通じてたくさんの会話が生まれました。又吉選手は、義足で好きなスポーツができていますので周りの人に「義足だ!」と言われても気にならないと言い、自分を信じ諦めずに続けていくことが大切だよ、と教えてくれました。

高松市立牟礼北小学校

陸上競技短距離選手
池田伸彦選手

6年生と池田伸彦選手が授業を行いました。スポーツ義足の跳ねる感覚を楽しみ、選手とも積極的に会話をし、たくさんの新しい発見をしました。諦めることが嫌いな池田選手は、初めから出来ないとは思わずに、まずはチャレンジしてひとつずつクリアしていくそうです。次の目標を定め、コツコツと努力をすることの大切さを感じる時間になりました。

別府市立南立石小学校

陸上競技短距離選手 / 大島健吾選手
名古屋学院大学

6年生と大島健吾選手が授業を行いました。義足での歩き方を教えてもらったり一緒に走ったりしているうちに、初めは少し遠慮気味だったみんなでしたが緊張が解けてきたようで楽しく学んでいました。義足だとスポーツをすることは大変なのかなと思ったみんなでしたが、大島選手は、やりたいと思ったスポーツには積極的にチャレンジし、今は陸上楽しいので記録を残せるように頑張っていると話してくれました。とても速く走る大島選手を知り、義足に対する見方が変わる時間となりました。

佐賀市立西与賀小学校

陸上競技短距離選手 / 山下千絵選手
SMBC日興証券所属

6年生と山下千絵選手が授業を行いました。とても元気で体験にチャレンジし、選手とも積極的にコミュニケーションをとり色々な質問をしながら楽しく学びました。山下選手は、義足になって大好きなスポーツができなくなるかと落ち込んだ時もあったけれど諦めることなく続け、今は1秒でも速く走れるようになりたくて頑張っているし、そういう時間がとても楽しいそうです。誰でも努力することに違いはないと知り、義足の人も自分と何も変わらないことに気づき身近に感じてもらえたらと話していました。

佐世保市立春日小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイジング・コンソーシアム(株)所属

6年生と池田樹生選手が授業を行いました。義足について予習していたみんなは、今回の体験では、興味深そうに実物を見たり、実際の義足のアスリートと触れ合い、楽しく学んでいました。初めは少し驚いていたみんなですが、池田選手との会話を通じて、義足を使って工夫すれば日常生活で困ることがないと知り「なんでも出来てすごい！」と感じ、これからは心に壁を作らずに接していこうと思いました。

長崎市立香焼小学校

義足ユーザー / 吉川和博さん
吉川和博一級建築士事務所

5年生6年生と、吉川和博さんが授業を行いました。初めてのスポーツ義足に元気よくチャレンジしたみんなは、義足のバランスの取りづらさを知り、慣れるまでは大変だ！と感じました。吉川さんは、義足になったときは絶望感だったけれど、克服して今はやりたい事にどんどんチャレンジしているし、義足だからと諦める気持ちは全くないとお話してくれました。何でも軽々とこなす吉川さんを見て、きっとたくさんの努力をして今があるんだなと思い、尊敬の念をいただいていた。

宗像市立自由ヶ丘小学校

陸上競技短距離選手 / 又吉康十選手
(株)ゼンリンデータコム所属

6年生と又吉康十選手が授業を行いました。義足を履き替えるのはどうするのかな?と思ったみんなは、選手の周りに集まり色々質問をしたり実際に触れ合って学びを深めていきました。体験では少しドキドキしたけれど、積極的にチャレンジしてその特性を感じました。バネの反発力を知り、使いこなすことの難しさを知ったみんなは、これで速く走れる選手はすごいと感じ、努力の大切さを実感しました。

福岡市立原小学校

陸上競技短距離選手 / 池田樹生選手
デジタル・アドバイザーズ・コンソーシアム(株)所属

6年生と池田樹生選手が授業を行いました。初めて見る義足に興味津々のみんな。義足を履き替える選手の姿を、目をキラキラさせながら見ていましたね。体験では、少し緊張しながらも積極的に学び、バネの跳ねる感覚やバランスを取ることの難しさを体感しました。☑日常生活もスポーツも難なくこなしてしまう池田選手。何でも工夫すれば出来ないことはないと教えてくれました。どんな状況でも無理だと思わずやってみることの大切さを感じました。



株式会社 LIXIL

東京都江東区大島二丁目1番1号 136-8535
www.lixil.com/jp

ユニバーサル・ラン <義足体験授業>
<https://s.lixil.com/universal-run>